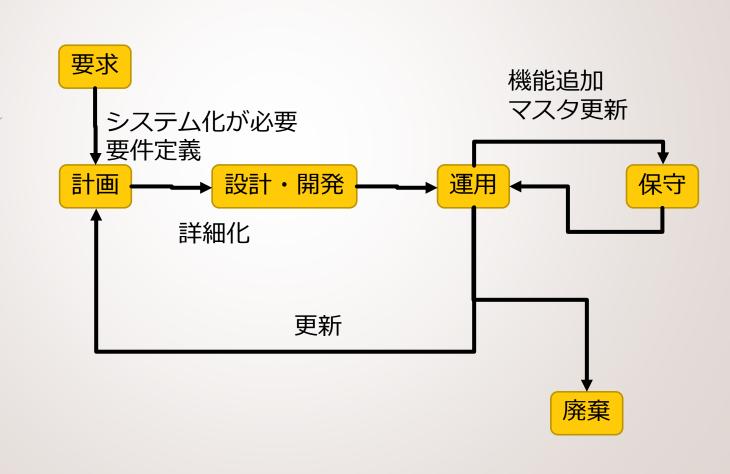
システムの設計と開発

情報科学の世界II

只木 進一 (理工学部)

システムのライフサイクル



システムの計画

- → 定性的・非技術的要求を定量的・技術的 要件へ
- 業務を行う部署と情報関連部署の連携が 必須
- ■業務改革が連動しなければ却って非効率 になる危険性
- ─他のシステムとの連携も意識
- 実現可能性・費用対効果・運用コストも 検討

要件定義業務を行う部署から

- システムの目的の整理
 - どの業務をシステム化するか
 - →システム化で何を可能とするのか
- →業務改革は必須
 - 紙で行っていた時との違い
 - 業務見直し
 - ー法律の制約

機能的要件と非機能的要件

- 機能的要件
 - →業務に関する機能
 - **-**「○○ができること」
- 非機能的要件
 - ▶性能:同時アクセス○人
 - 保守:「障害時に1時間以内に対応」
 - ■セキュリティ

詳細仕樣

- 要件と技術仕様との調整
 - 業務部門とシステム開発者との調整
- →画面イメージ(mockup)
- →処理の流れ
- データベース設計

非常に重要な過程

システムの開発

- 外部設計
 - 外からの仕様:機能要件、ユーザインターフェース、他システムとの連携
- 内部設計
 - システムのモジュール化、インターフェイス 詳細設計
- →プログラム設計
 - データ構造、プログラムモジュール、モジュール間連携

システムの開発モジュール化

- システムをできるだけ独立した部品に 分割する
 - ▶業務毎の機能
 - 一共通的機能
- MVC (Model-View-Control)
 - 業務のモデル
 - ユーザインターフェイス
 - 一画面遷移

- プログラミング
- ーテスト
 - 単体テスト:各部品のテスト
 - → 結合テスト: 部品を連結した後のテスト
- 検収
 - ─機能性能要件を満たしているか

システムの運用・保守初期

- 実際に業務へ投入し利用する
 - −データの整備
 - ▶旧システムがある場合は、移行作業
- 利用者教育
- 不具合、要求要件との齟齬の調整
 - ■要求要件との差が大きい場合には大問題

システムの運用・保守中期

- 日常的なデータ更新・バックアップ
- OS・ミドルウェアのアップデート
 - →特に脆弱性対策
- 不具合対応
- ユーザ要求等への対応
 - 終期:更新への準備

システムの運用・保守 終期

- ▶更新への準備
 - 次期システムの計画
 - ─何をどのように改善するのか
 - →単に「古くなったから」ではダメ
- →データ移行準備
 - ■データクレンジング:不良データ対応

システムの開発工程

- Water Fall Model
 - ■設計、開発、テストと直線的な進捗をイメージ
 - ▶長い開発期間
 - →不具合があった場合には、大きく戻る
- Agile Software Development
 - 一部の機能を持ったものを順次開発

他システムとの連携

- ■他システムとのデータ連携は必須
 - 重複排除→効率化・迅速な更新
- 各システムはデータインターフェイス・データ更新タイミングが異なる
 - 柔軟な連携を可能にする基盤が有利
- −連結するためのキーが必要

データ連携イメージ

